

平成 18 年 9 月

おさかなシンポジウム「アンチ・エイジングと魚食」

ご案内

最新の研究によると人間の寿命は、本来 125 歳であるといわれています。それが、様々の要因で短命に終わっているのは何故でしょうか？アンチ・エイジングとは、元々、アメリカで考えられたコンセプトです。エイジング (Aging) とは、英語で「老化」「加齢」のことを意味します。つまり「アンチ・エイジング」は、「老化・加齢に対抗する」ということです。

【アンチ・エイジングの基本概念】

病気になるない 歳をとらない 死なない

「老化」とはいったいどういうことなのかが、医学的に解明されつつある現在、それを積極的にコントロールすることで、誰でも確実に若返る可能性が出てきました。

「アンチ・エイジング」は、21世紀の社会における重要なひとつのキーワードとなるでしょう。アンチ・エイジング医療では、避けて通れない老化に伴う健康状態の衰退を一つの病気としてとらえています。私達は 近年のアンチ・エイジングの医療法の発達により、老年後も若々しさを保つことができると信じています。成長ホルモン を含む自然ホルモンの置換によってホルモンのレベルを若年期のレベルにすることで、老年化を遅らせるだけでなく、若さをよみがえらせることも可能です。若さと活力を取り戻すために、どうしたらよいか極めて興味がない話題です。

今、話題のおさかな食は、このアンチ・エイジングと深いかわりを持っています。

社団法人 大日本水産会 会長 中須勇雄

<記>

おさかなシンポジウム「アンチ・エイジングと魚食」

日時:平成 18 年 10 月 16 日(月)午後 1 時 30 分開場

午後 2 時開演 4 時半終了

場所:石垣記念ホール(三会堂ビル9階 港区赤坂 1-9-13)

参加費:無料(別添の申込用紙を FAX 又は、郵送ください)

主催:社団法人 大日本水産会

後援:水産庁・社団法人 東京都栄養士会

(演題と講師)

講演: アンチ・エイジング最前線(ここまで解った老化の仕組みと対策)



東京都老人総合研究所名誉所員

(前副所長)

安藤 進 先生

東京都老人総合研究所は 1972 年に開設され、老化のメカニズムの解明とその制御、アルツハイマー病、骨粗鬆症、動脈硬化をはじめとする老年病の発症機序、治療、予防法の開発、また高齢者の心理や生活・福祉に関わる諸問題、高齢者の QOL の向上などに取り組んできました。所員構成は、生物学、基礎医学、臨床医学、看護学、社会学、心理学など幅広い領域の研究者から成り、同じキャンパスにある東京都老人医療センターと連携しつつ、高齢者の問題を総合的に研究する体制が敷かれており、今日まで多くの研究成果を生んでいます。この成果をもとに、わかりやすいアンチ・エイジングの最前線の研究概要をお話いただきます。

最新研究発表: アンチ・エイジングと魚食(さかなで保つ、若さと知能)



女子栄養大学教授

鈴木 平光 先生

「魚を食べると頭が良くなる」の著者、食品の機能性と、安全性の研究で有名な先生です。独立行政法人食品総合研究所 機能生理研究室長を経て、現在は女子栄養大学で研究を続けられています。

以上、お2人の講師により、わかりやすい平易な言葉で、最新的话题をお届けいたします。是非、お誘い合わせの上、振るって、ご来場ください。入場無料です。

別添、申込書を FAX 又は郵送していただくと、入場ハガキをお送りいたします。

会場略図



大日本水産会

おさかな普及協議会行き(FAX 03-3582-2337)

10月16日(月)のおさかなシンポジウム「アンチ・エイジングと魚食」に
参加申し込みます。

ご住所:〒

ご所属:

ご氏名: _____ (ご同伴者数 _____ 名)

(お電話番号 _____)

ご同伴の方がいらっしゃる場合は、ご同伴の方の人数をお書き下さい。

申し込み締め切りは、10月2日(月)です。

先着順で、入場ハガキを送付しますので、郵便番号、ご住所、ご氏名をはっきりお書きください。

本件に関する問い合わせ先:

〒107-0052 港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル8階
社団法人 大日本水産会 漁政部企画課
おさかな普及協議会 事務局
松沢 浅野 玉井
Tel 03 - 3585 - 6682
Fax 03 - 3582 - 2337
Email jfish@fishworld.or.jp